

# キッズ日記について

**文**章を書くということは、自分の頭の中にあるものを言語化し、組み立て、相手にわかりやすく伝えるという大変難しい作業です。実際、多くの小学生・中学生が作文を苦手としています。

そこで、**梨香台ゼミナール**では、作文力の向上、履修済み漢字の実践的活用、作文用紙の使い方の習得を目標に、日記を国語の課題に取り入れています。

**日**記とは、そもそも個人の日常の出来事を記録しておくものです。その日あった出来事や事柄（友達と遊んだこと、ケンカしたこと、家でお手伝いしたこと、サッカーの試合でゴールを決めたこと、お休みの日にお出かけしたこと、今、悩んでいること、動物やペットのこと、先の予定や目標、テレビや新聞を見て…等）について、感じたことを自由に書くのが、日記本来の姿です。文体などに細かい規定は無く、自由な発想で書けばよいのです。

**皆**さんに日記を書いてもらう一番の目的は、文章に慣れ親しんでもらうことです。まずは、毎日楽しんで日記をつけることから始めましょう。たとえば、つたない文章であっても、塾生の可愛らしい日常や本音を見ることができるとは、我々講師にとっても嬉しいことです。講師との良いコミュニケーションの道具にもなることでしょう。

**折**角ですから、国語という教科にも活かしたら、一石二鳥ですね。

そこで、原稿用紙の使い方もマスターできるよう、作文用のノートを使って指導します。書き方のポイントと級別（学年別）のアドバイスを書いておきますので、書く時の参考にしてください。文章を書くのが苦手だという塾生は、対象学年より1つ前の級を参考にするとよいでしょう。アドバイスはあくまで参考です。文法的なことや文章の構成などは、講師による添削指導で次第に身につけていきます。

基本は、伸び伸びと文章を書き、楽しむことです。

**近**い将来、この日記がきっかけで「文章の読み書きが得意（好き）になった！」そんな声が聞けたら何よりです。

キッズ担当講師一同

# キッズ日記について

## 【書き方のポイント&アドバイス】

注)あくまで参考であり、この通りに書かなくてはいけないというものではありません。

ぜん  
全学年

- ① 日付
  - ② タイトル(題名)
  - ③ 始め…これから、書くこと(何について書くのか)
  - ④ 中…詳しく、説明する
  - ⑤ 終わり…「中」を読み返して、感想・まとめ(どう感じたか、どう思ったか。気づいたこと、発見したこと。そう感じた理由など)
- ※ 習った漢字を使えているかな。
- ※ 文章を読み返して、おかしなところ、間違いはないか確認したかな。



しょ  
初級者

(1・2年生) 字数・行数を気にせずに自由に書いてみましょう。

- ・ 助詞「て」「に」「を」「は」の使い方は正しいかな？
- ・ 句点。読点。やかぎカッコ「」の使い方を日記の中で練習しよう。
- ・ 主語・述語の関係 何(誰)が⇒どうした 何(誰)が⇒どんなだ  
何(誰)が⇒何だ はきちんと対応しているかな？
- ・ 五感(見る、触れる、聴く、嗅ぐ、味わう)を働かせて、生き生きとした文章にしよう！

ちゅう  
中級者

(3・4年生) 3段落構成を意識して、4~8行を自安に書いてみましょう。

- ・ 修飾語・被修飾語の関係 どのような⇒何 どのように⇒する は正しいかな？
- ・ 文と文をつなぐ接続語(しかし・なぜなら・でも・やはり・だから など)は正しく使えているかな？
- ・ 段落や場面の変わり目は、行を改めよう。
- ・ 文の終わり方 です・ますかだ・であるかのどちらかに揃えて書いてみよう。

じょう  
上級者

(5・6年生) 3段落構成を意識して、5~10行を自安に書いてみましょう。

- ・ 比喩法や擬人法(たとえ)を使って、感想や思いをより印象的に書く工夫をしてみよう。
- ・ 書き出しと終わりの文が印象的になるよう工夫をしてみよう。
- ・ 自分の思いだけでなく、相手(周りの人)の気持ちも想像して書いてみよう。



梨香台ゼミナール

# キッズ日記について

【ルール】 ※1P=梨ゼミポイント

- ① 最低、週に1日書く（最高7日）。あらかじめ書く日を決めておくとよい。  
➡日記1日書くごとに1P※、優れた文章や表現 5P※獲得！  
ノート1冊終了すると100P獲得！  
（特別な理由無く）日記をつけていない 1P※減点
- ② 日記ノートは、週に一度決められた曜日に提出すること。➡忘れ物 2P※減点
- ③ 返却された添削済み日記ノートは必ず持ち帰ること。
- ④ ノートを持ち帰るのを忘れたら、代わりのノートや用紙に書いて提出すること。

【保護者様へのお願い】

1. キッズの日記については、ご家庭でもお子様に必要な部分を抜粋して説明してあげてください。
2. 日記で使用する『作文帳』は、最初の2冊は教材と共にお渡しします。  
1冊使い終える毎に新しいノートをお渡しします。  
ノートは低学年（1・2・3年生）用と高学年（4・5・6年生）用があります。
3. お子様が特別な理由（体調不良等）で日記を書けなかった場合は、お手数ですが日記ノートに保護者の方が日付とその旨ご記入いただきますようお願いいたします。（減点の対象外となります）
4. 上手に書けた日記は、他のお子様の参考になるよう、予め了承を得た上で印刷物やホームページで紹介させていただきます。

以上、お子様が楽しく日記を続けられるよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

